

20/1/6 名古屋市長河村たかし 年頭記者会見(名古屋城部分)

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

10:16

河村:お城の方は皆さんまあいろいろとご心配いただいて、市民の皆さんもありましたけど、石垣部会の皆さんのご理解を得まして、相談しながら丁寧になおかつなるべく早く、というふうに進んでおりますんで。

文化庁もそうっておりますんで、とにかく、石垣部会と仲良くやってちょういって、まあそんなきたにゃ一言言葉じゃないですけど、もっと固い言葉でしたけど。ということです。

こないだの石垣部会に文化庁から調査官がお見えになって、進んでおりますんで。

それはあの、名古屋文化芸術盛り上がるためのかけがえのない第一歩なんですこれ。引き金と。ということでございまして、まああの、いっぺん名古屋を広めやーと。みんな。

リニア、でね、飛躍していこみやーと。という気になるように、やっぱ一杯飲んで、面白いことやると。世界のナンバーワンクラスの人たちのコンサート。

あれは日本でいえば桂文枝さんたちが来てしょっちゅうやる寄席とかですね、そういう話ですわ。と思います。以上でございますが、いろいろお世話になっております。

39:59

毎日:毎日新聞です。名古屋城の今後についてなんですけれども、あらためて今年度どういう道筋を付けたいか、市長の思いをお願いします。

河村:まあだいたいね、これでこの間千田さんが見えて、中村のあのほら記念館のところ、ほんで、いわれてましたがね。「目標については完全に一致したと。石垣部会と名古屋市」。あとこれは個人的ではあるが、個人的に、3月ぐらいで調査が終えられるといいな、いって。言っていました。だからそういうところを出してもらおう。

記者:関連何ですけれども、今のお話、関係が改善したというお話だと思うんですが、実際に年末に石垣部会が開かれて、話し合いされた内容なんかも踏まえたあと、実際に手応えとしては、その改善、関係が改善したというのは手応え的にああ間違いないなという感じでいらっしゃるかということと、完成時期ということについてはどういうふう、いつまでに発表していきたいとか。そういう目標みたいとか。

河村:はい、人間ですから、ちょっと話しあえばわかりますがな、まあ。やっぱり文化庁の指導も大きかったのではないですか。ええ。直接私は話していますけど。とにかく仲良くやってちょういって。もうちょっと硬いことばでしたけど。はよやってちょうだいと。石垣部会と名古屋市は。わかりました言って。

もう一つは、いわゆる解体だけ別にせずに、解体と木造復元と一緒に申請して下さい。僕には変更でといわれ、その後追加だねえ、追加だったかな、追加というやり方でいいですよって。そういう風に指示をいただいております、現実には文化庁お見えになりました。文化庁の方が。そこで言われておりますので。  
まあ誠実にやれば。なんでこんな風になったかなって、石垣部会の人も言ってましたけど。

記者: 今日以降は進めていけるなというふうに感じていらっしゃるということですね。

河村: そりゃ文化庁が来たのは大きいですよ。やっぱり。文化庁主任調査官だったかな。ええ。文化庁が部会にちゃんととった。合同で記者会見やったでしょう? 文化庁はいなかったかわからんけど。名古屋市と石垣部会と合同で記者会見をやりました。それは偶然ではない。

記者: 完成時期については

河村: 完成時期はまあ、本当にお気持ち通りというか、千田さんのお気持ち通りって、3月に仮にまあ、やってみるとわからんもんがあるもんでね、今、5カ所穴掘ってるし、まあいろいろファイバースコープ通すかとかあるんですが、できれば、それははよできるんじゃないですか。石垣のためにもええ仕事がようできると思いますよ。ええ。  
そりゃトリエンナーレはちゃんと書いてもらわなあかんよ、まあ。